

平成25年度第4回青森市指定管理者選定評価委員会会議概要

- 1 対象施設 港湾文化交流施設
- 2 開催日時 平成25年11月22日(金) 10:00~12:00
- 3 開催場所 青森市役所第2庁舎地下会議室
- 4 出席者
 - (1) 選定評価委員 委員長 相馬 紳一郎(市長公室次長)
委員 増田 一(企画財政部次長)
委員 永澤 保弘(農林水産部次長)
委員 成田 聖明(教育委員会事務局教育次長)
委員 池田 亨誉(青森公立大学准教授)
委員 佐々木 信一(東北税理士会青森支部税理士)
 - (2) 施設所管課(事務局) 交通政策課 課長 石郷 昭規
主幹 木立 圭史
主査 葵 卓
 - (3) 制度所管課 市民政策課 主幹 福島 清裕
主事 田中 浩司
- 5 欠席者 鈴木 裕司 副委員長(総務部次長)
- 6 議題 指定管理者制度導入の適否及び募集要項等に係る審査
- 7 会議概要

(1) 指定管理者制度導入の適否について

配布資料に基づき、事務局(交通政策課)から、施設概要や指定管理制度導入の検証内容、八甲田丸改修の状況等を説明し、次回の募集については、指定期間を2年間、一部利用料金制を継続、募集形態を非公募とすることを説明。

会議中、委員から要望があったため、八甲田丸の改修に関する資料を追加で配布した。

審議結果

募集内容等について、以下のとおり決定することとした。

- 1) 指定期間: 2年
- 2) 利用料金制: 一部利用料金制
- 3) 募集形態: 非公募

主な質疑等の内容

委員: 指定管理者募集の原則は公募だと思うが、非公募はどのような場合に行うことができるのか。

市民政策課: 公募の手続きをとる暇がないとき、当該施設の適切な運営を確保するた

め必要と認められるとき、その他市長が特に認める場合が対象となるが、今回は、その他市長が特に認める場合に該当する。

委員：前回の募集では何者の応募があったか。

事務局：1者の申込みだった。

委員：今回は、改修工事の実施による安全確保が理由で非公募ということだが、今後の選定に当たっては、「工事实施＝非公募」とならないよう、工事の場所や規模による、非公募の線引きが必要と考える。

市民政策課：今後の課題として検討する。

委員：改修工事はどのように実施する予定なのか。

事務局：老朽化した船体の対策として、開館しながら、2年間で全面的な改修を行う予定である。

委員：全面閉鎖して、工事期間を短縮する選択肢は無かったのか。

事務局：現在、ウォーターフロント地区は、八甲田丸・ワラッセ・A - F A C T O R Y・アスパムの4施設の連携により、賑わいや活性化が図られているため、八甲田丸の全面閉鎖によるウォーターフロント地区の他の施設への影響を考慮して、全面閉鎖の期間を少なくするという判断をした。

委員：大規模改修の実施により、非公募で行った前例はあるのか。

市民政策課：八甲田丸の塗装工事などを行った平成21年度の1年間に、非公募で行った。

委員：工事实施時における安全確保は業者の責任であるので、安全確保が非公募の理由にならないと考える。

委員：全面改修を行いながら開館するためには、工事と施設の運営においての適切な安全確保と、工事をスムーズに実施するための連携が指定管理者に求められるので、非公募の理由になるのではないか。

委員：改修の資料を読むと、施設の特殊性が理解できる。

工事業者も八甲田丸に関するノウハウは十分でないと思うので、過去に指定管理の経験がなければ、市や工事業者との連携がうまく行かず、円滑な工事实施につながらない、という理由で非公募ということは理解できる。

委員：施設の特殊性や、工事期間中も開館することを考慮すれば、工事期間に限って非公募で行うことは、理解できるものである。

委員：今回は特殊な施設の工事であり、さらに開館しながら工事を行うという特殊性も重なっているので、工事期間の2年間に限り非公募とし、工事終了後は改めて公募するということが良い。

(2) 募集要項等に係る審査

配布資料に基づき、事務局(交通政策課)より募集要項・仕様書・選定基準・責任区分等を説明。

審議結果

募集要項等について、指摘された事項を修正した上で募集に当たること、全委員異議なく全会一致で了承された。

主な質疑等の内容

委員：非公募の理由となった工事の安全対策について、選定基準に追加すべきと考える。

事務局：選定基準に追加する。

委員：工事の安全対策については、仕様書にも明記すべきである。

事務局：そのように修正する。

委員：一部閉鎖があることがわかるような内容にするべきである。

事務局：仕様書に記載する。

委員：青函連絡船に関する資料などの財産点検を1年に1回行い、市に報告するようにしてはどうか。

事務局：仕様書に追加する。

委員：積算資料について、八甲田丸の収入はどのように算定したか。

事務局：近年、新幹線開業や青函ワールドオープンなどにより、収入は増加しているが、その効果が薄れた今年度は減少しているため、それらを考慮した。

委員：指定管理料には工事による影響額を反映しているのか。

事務局：現時点で影響額は算定できないので、反映していないが、責任分担表において、工事による影響が生じた場合は協議する旨を記載している。

委員：トラブルにならないよう、その旨を別途明記すべきである。

事務局：仕様書に明記する。